



朽木中学校だより

第6号 令和6年9月25日発行 文責 今井 俊彦

朽の木とともに
大地に根を張り
幹を太らせ
たくましく伸びる

みんなで創り上げた文化祭！

2学期が始まって3週間が経ちましたが、厳しい残暑が続きました。そんな中、生徒たちは文化祭に向けて仲間と協力しながら一生懸命に取り組みました。夏休みから校友会執行部が準備にかかり、それを受けて各学年や全校で準備を進めてきました。

9月20日（金）には、やまびこ館で取組の成果を発表しました。今年度は、新たな取組として全校生徒による合奏に挑戦しました。学年ステージ発表は、練習の成果を発揮し、それぞれの学年の個性や工夫が見られるものでした。その他、ビックアートの制作、総合的な学習の発表、各教科や委員会活動の展示や発表、有志による出演、PTA合唱など、盛りだくさんな内容で、全員で創り上げた中身のある文化祭になりました。

当日は、保護者や地域の方々にも多数観覧いただきました。PTA合唱にはたくさんの方に参加していただき、大変盛り上げていただきました。ありがとうございました。



1年生
「るろうにお騒がせ剣士」



2年生
「映画？ふざけた奴らの日常」



3年生
「あなたがかける明日」



【朽木太鼓・春夏秋冬】



【全校合奏・ルージュの伝言】

【生徒の感想】

- ・このメンバーでの最後の文化祭で、集大成とも言えるとてもいいものになったし、みんな全力で取り組んでいてさすがだと思った。
- ・全校の取組が増えたから、全校の絆がより深まった気がしました。
- ・一人でするのではなく全校のみんなで協力してやったからこそ、こんなにいい文化祭になったんだなと感じました。
- ・人と関わって楽しんだり、協力したりすることが大切だということを学びました。

地域の方々とともに学んだ防災学習

9月3日（火）に、第2回目の避難訓練を実施しました。今回は、昼休みに土砂災害が発生したという設定で、放送の指示のもと体育館に避難しました。昼休みでみんなバラバラに過ごしていたこと、放送を最後までしっかり聞けなかったことなどもあり、スムーズな避難とはいかなかったようですが、いつ起こるかわからない災害への意識を高めることができたと思います。

その後、日本赤十字社滋賀県支部事業推進課長の里見紀久子氏から、「防災・減災について～私たちができること～」と題してお話を伺いました。災害が起こる前からの備えや、自助・共助・公助について、そして、避難所でできることなどについてお話いただきました。能登半島地震の様子も写真を交えて紹介していただき、改めて災害に対する意識を高めることができました。当日は、朽木の日赤奉仕団をはじめ、地域の方々も参加していただき、ともに防災について学ぶ機会となりました。



【生徒の感想】

- ・自分や家族、周りの人の命を守る行動について理解できました。里見さんの実体験を聞いて感動する話もあって、自分もこんな行動をしようと思いました。
- ・非常用バックは作ったほうがいいんだろうなと思ってはいたけど、まだ作れていないのでこの機会に作ろうと思いました。石川県の災害の話とか、いろんな話が聞けてよかったです。
- ・地域の人と関わったり、顔を覚えたり、覚えてもらったりすることが重要だということがわかりました。避難するための準備を日頃からしておこうと思いました。

10月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
			校友会専門委員会		英語弁論大会地区予選 1年ひびきあい	
6	7	8	9	10	11	12
	S C 来校AM					
13	14	15	16	17	18	19
朽木スポーツ カーニバル	スポーツの日			3年実力テスト	秋季総体 3年実力テスト	
20	21	22	23	24	25	26
	2年ひびきあい	3年ひびきあい 進路説明会	1年森林体験学習			朽木米まつり
27	28	29	30	31		
	S C 来校PM 第2回PA活動			地域貢献活動		

11月の主な行事予定

- 11月12日（火）1年西地区交流事業
- 11月13日（水）2年校外学習
- 11月22日（金）・25日（月）第2回テスト

